

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【公表番号】特表2011-505414(P2011-505414A)

【公表日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-536523(P2010-536523)

【国際特許分類】

C 07 K 14/755 (2006.01)

C 07 K 7/06 (2006.01)

C 07 K 7/08 (2006.01)

A 61 K 38/43 (2006.01)

A 61 K 38/00 (2006.01)

A 61 P 7/04 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 07 K 14/755

C 07 K 7/06 Z N A

C 07 K 7/08

A 61 K 37/465

A 61 K 37/02

A 61 P 7/04

A 61 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月13日(2011.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下のコア残基配列：

【化16】

LYISQFIIM

FIIMYSLDG

IARYIRLHP

LIIFKNQAS

LTRYYSSFV

MVTERRNQAS

LRIHPQSWV

のうちの一つを含むペプチドであって、

該ペプチドは、更なる抗原プロセシングを受けることなくMHCクラスII分子に結合し、第VIII因子特異的T細胞により認識され得る、ペプチド。

【請求項2】

以下のコア残基配列：

**【化17】**

IARYIRLHP

LTRYYSSFV

MVTFRNQAS

LRIHPQSWV

のうちの一つを含む請求項1に記載のペプチド。

**【請求項3】**

以下のコア残基配列：

**【化18】**

LTRYYSSFV

MVTFRNQAS

のうちの一つを含む請求項2に記載のペプチド。

**【請求項4】**

配列

**【化19】**

PRCLTRYYSSFVNME

を有する請求項3に記載のペプチド。

**【請求項5】**

配列

**【化20】**

DNIMVTFRNQASRPY

を有する請求項3に記載のペプチド。

**【請求項6】**

請求項1～5のいずれか1項に記載の複数のペプチド類を含む組成物。

**【請求項7】**

インビボにおいて第VII因子インヒビター抗体の産生を抑制もしくは阻止するための医薬品の製造における請求項1～5のいずれか1項に記載のペプチド又は請求項6に記載の組成物の使用。

**【請求項8】**

対象において第VII因子インヒビター抗体の産生を抑制又は阻止するための組成物であって、請求項1～5のいずれか1項に記載のペプチド又は請求項6に記載の組成物を含む、組成物。

**【請求項9】**

対象において血友病を処置するための組成物であって、請求項1～5のいずれか1項に記載のペプチド又は請求項6に記載の組成物を含む、組成物。

**【請求項10】**

前記対象が血友病Aを有し、第VII因子置換療法を受けているか、受けようとしている、請求項8又は9に記載の組成物。

**【請求項11】**

前記対象が後天性血友病を有しているか、これに罹患するリスクがある、請求項8又は9に記載の組成物。

**【請求項12】**

前記対象がHLA-DR2である、請求項8～11のいずれか1項に記載の組成物。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

第V I I I 因子インヒビターは、H L A - D R 2 を発現している個体においてより高頻度に存在する。従って、本発明の方法により処置される対象はH L A - D R 2 陽性であるとすることができる。

本発明はまた、以下の項目を提供する。

(項目1)

以下のコア残基配列：

【化16】

LYISQFIIM  
FIIMYSLDG  
IARYIRLHP  
LIIIFKNQAS  
LTRYYSSFV  
MVTFRNQAS  
LRIHPQSWV

のうちの一つを含むペプチドであって、

該ペプチドは、更なる抗原プロセシングを受けることなくM H C クラスI I 分子に結合し、第V I I I 因子特異的T細胞により認識され得る、ペプチド。

(項目2)

以下のコア残基配列：

【化17】

IARYIRLHP  
LTRYYSSFV  
MVTFRNQAS  
LRIHPQSWV

のうちの一つを含む項目1に記載のペプチド。

(項目3)

以下のコア残基配列：

【化18】

LTRYYSSFV  
MVTFRNQAS

のうちの一つを含む項目2に記載のペプチド。

(項目4)

配列

【化19】

PRCLTRYYSSFVNME

を有する項目3に記載のペプチド。

(項目5)

配列

【化20】

DNIMVTFRNQASRPY

を有する項目3に記載のペプチド。

(項目6)

項目1～5のいずれか1項に記載の複数のペプチド類を含む組成物。

(項目7)

インビボにおいて第VIII因子インヒビター抗体の産生を抑制もしくは阻止するのに使用するための項目1～5のいずれか1項に記載のペプチド又は項目6に記載の組成物。

(項目8)

インビボにおいて第VIII因子インヒビター抗体の産生を抑制もしくは阻止するための医薬品の製造における項目1～5のいずれか1項に記載のペプチド又は項目6に記載の組成物の使用。

(項目9)

対象において第VIII因子インヒビター抗体の産生を抑制又は阻止するための方法であって、該対象に項目1～5のいずれか1項に記載のペプチド又は項目6に記載の組成物を投与する工程を含む方法。

(項目10)

対象において血友病を処置するための方法であって、該対象に項目1～5のいずれか1項に記載のペプチド又は項目6に記載の組成物を投与する工程を含む、方法。

(項目11)

上記対象が血友病Aを有し、第VIII因子置換療法を受けているか、受けようとしている、項目9又は10に記載の方法。

(項目12)

上記対象が後天性血友病を有しているか、これに罹患するリスクがある、項目9又は10に記載の方法。

(項目13)

上記対象がHLA-DR2である、項目9～12のいずれか1項に記載の方法。